

授業科目名	NPO・NGO と国際社会		
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 2 クオーター		
講義内容	<p>この講義では、国際社会が抱える課題に NGO が、我が国が直面する課題に NPO が、それぞれ果たしている役割を紹介し、NPO・NGO の経営の特徴や、芸術や観光等の活動について、受講生が考える材料を提供する。</p> <p>この講義は講師が知識や情報を提供するだけでなく、受講生がその知識や情報についての理解を他の受講生と議論し、表現することを求める講義となる。具体的には各回の講義では講義内容を踏まえたグループの議論やその結果の書面報告を求める。また講義で得た知識と、自身が関心をもつ NPO・NGO に関する調査を関連づけ、グループ発表や個人レポートで表現することとなる。</p>		
到達目標	<p>受講生が、次の三点を達成することを目標とする。</p> <p>①NPO・NGO の基礎的な知識を身につけること。</p> <p>②現代の国内外の社会が抱える諸問題について理解すること。</p> <p>③NPO・NGO の基礎知識をもとに、国内外の社会課題の対応策を考え、論理的に議論できるようになること。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際社会とは何か・非営利組織とは何か（存在意義・理論・主な制度） 2 国際社会の課題と NGO（開発・環境・人間の安全保障） 3 二つの震災と非営利法人をとりまく制度 4 非営利組織の財務（ワーク「データベースを活用しよう」） 5 非営利組織の人材（理事・有給職員とボランティア。コーディネーション） 6 非営利組織と協働／非営利組織を支える仕組／非営利組織の発展と限界 7 ケース・スタディ：芸術文化関連の NPO／観光関連の NPO 8 ケース・スタディ：保健・医療・福祉の NPO／子どもの健全育成の NPO 9 非営利組織のミッションとガバナンス（ワーク「NPO をつくってみよう」） 10 グループ発表① 11 グループ発表② 12 まとめ（グループ発表と中間レポートへの講評） 		
事前・事後 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、各受講生が関心をもつ NPO・NGO について調べておくこと。 ・事後学習については「成績評価の基準」欄を参照すること。 		
テキスト	特に指定しない。		

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・宮垣 元 (2024)『NPOとは何かー災害ボランティア、地域の居場所から気候変動対策まで』中公新書 ・山田 満編・堀江 正伸著 (2023)『新しい国際協力論 [第3版] —グローバル・イシューに立ち向かう』明石書店 ・認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 (編), 早瀬 昇・筒井のり子 (2024)『ボランティアコーディネーション力 第3版: 市民の社会参加を支えるチカラ』中央法規 <p>※ 必要に応じ、講義で資料を配布し参考文献を紹介する。</p>
成績評価の基準	<p>次の三点の課題を通じて、到達目標の達成度・理解度を総合的に判定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グループ・ワーク・ペーパー (GWP*) の内容及び講義への貢献** (50%) *グループ討議の内容 (各自の意見と討議の要約) と質問により構成される。 **講義への貢献：質疑応答や他の受講生にもプラスになる言動を加点する。 2 グループ発表または中間レポート (35%) 関心をもつNPO・NGOと講義内容とを関連づけたテーマの発表・レポート 3 最終レポート (15%) NPO・NGOについて最も学んだことなど。
履修上の注意 履修要件	<p>本講義の履修の是非を決める参考として、また「成績に対する確認書」を呈する前に、以下の項目を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「成績評価の基準1」の得点は、GWPの提出が大前提であり、講義内容の理解がGWPで表現されることで、初めて加点される。(一定程度の表現では、何を理解したかを判定しづらく、低評価にせざるを得ない) ・成績評価は基準1・2・3の総点評価で行う。そのため、「成績評価の基準2」のグループ発表を行った学生同士が同一得点になることはほぼない。 ・「成績評価の基準3」の評価は、講義内容の理解を確認する。講義内容を踏まえていない最終レポートの評価を高くすることはない。
実践的教育	該当しない。
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・履修学生数の多寡、ゲスト講師の確保などにより、講義の計画や内容が修正される可能性がある。 ・履修希望者が定員を超過した場合は、履修登録期間中に下記の課題提出を求めその内容をもって選考する。(基本、未提出者の履修を認めることはない) <p>【課題】</p> <p>あなたは、この講義「NPO・NGOと国際社会」で、具体的にどのようなことを学びたいのか。200文字以内で回答して下さい。</p>